

令和元年7月25日
第四管区海上保安本部

広報資料

【広報案件】

- ・海の事故ゼロを目指して in ららぽーと名古屋みなとアクルス
～うみまるとグランパスくん初コラボ！～
- ・「伊勢湾台風襲来から60年 企画展」を開催します！
- ・令和元年6月の船舶海難・人身海難発生状況

【お知らせ】

- ・救命胴衣着用効果体験会の実施について

【問い合わせ先】

総務部総務課

広報・地域連携室長 大町 幸

電話 052-661-1611（内線 2111）



令和元年 7 月 25 日

第四管区海上保安本部

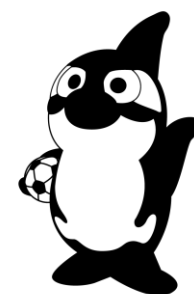
海の事故ゼロを目指して

in ららぽーと名古屋みなとアクルス

～うみまるとグランパスくん**初コラボ**～



海上保安庁
JAPAN COAST GUARD



NAGOYA
GRAMPUS

第四管区海上保安本部では、多くの方々に賑わう大型商業施設「ららぽーと名古屋みなとアクルス」において、海難防止啓発活動等のイベントを行います。

大型モニターにおいて、名古屋グランパス宮原 和也選手からのメッセージ動画の放映、また、「うみまる」と「グランパスくん」も登場しイベントを盛り上げます!!

1 日時

令和元年 8 月 2 日 (金) 午前 10 時～午後 3 時まで

※「グランパスくん」の登場は、午後 1 時～午後 3 時まで

2 場所

愛知県名古屋市港区港明 2 丁目 3-2

ららぽーと名古屋みなとアクルス 1 階センターコート

3 実施内容

【ステージイベント】

うみまるとグランパスくんがステージ上にて、海での事故防止に関する呼びかけを行うとともに、救命胴衣の膨張実演を行います！

(実施時間：午後1時及び午後2時の計2回)

【宮原選手のコメント放映】

「海の事故ゼロへの願い」のポスターで起用されている、名古屋グランパス宮原和也選手からいただいた、海での安全啓発コメントを特別放映します。

【各種救命胴衣の展示】

大切な命を守るために忘れて欲しくないのが救命胴衣。そんな救命胴衣に実際に触れて、着てみて、その性能を学んでください。もちろん正しい着用方法や使用方法も丁寧にレクチャーします！

【その他ブースの設置】

制服の試着コーナー、操船が体験できるシミュレーター、グランパスくんとのコラボ缶バッジが作成できるコーナーなど多数のブースをご用意しております。

4 参考

海難防止活動を実施するにあたり、地域の方々からの注目をより集めるため、今年から名古屋グランパスとコラボしています。



名古屋グランパスご協力のもと啓発ポスターを作成し、名古屋市内の中学校や愛知県、三重県下のショッピングセンター等に掲示を依頼するなど、広く周知活動を行っています。

名古屋グランパス「宮原 和也選手」ご本人から海での安全啓発コメントをいただいております。海上保安庁「YouTube」や名古屋グランパスが運営する各 SNS に掲載される予定です。

※ポスターのモデル：宮原 和也選手

5 取材申込み

取材を希望される報道機関は、別添取材申込書により、7月31日(水)午後3時までにお申込み下さい。

なお、イベントに関する取材は、午前10時～午後2時30分までの対応とさせていただきますのでご了承ください。

「海の事故ゼロを目指して inららぼーと名古屋みなとアクルス
～うみまるとグランパスくん初コラボ～」

別添

取材申込書

御 社 名 _____

連 絡 先 _____

注) イベント中止等をお知らせする場合の連絡先を記載してください。

代表者氏名 _____

同行者氏名 _____

注) 同行者全員の氏名を記入してください。

御掲載・〇A予定 _____

差し支えなければご記入ください。

申込書送付先

F A X : 052-661-1620

メール : jcg4soumu1-5u5s@mlit.go.jp

メールでお申込の場合は上記項目を漏れなく記載してください。

お申込を頂いた報道機関には、受付担当からご連絡を差し上げます。

受付担当

第四管区海上保安本部 総務部総務課 企画係

T E L : 052-661-1611

【問い合わせ先】
海洋情報部監理課
監理課長 高橋 渡
電話 052-661-1611（内線 2510）



令和元年 7 月 25 日
第四管区海上保安本部

「伊勢湾台風襲来から 60 年 企画展」を開催します！

第四管区海上保安本部では、9 月 12 日に水路記念日を迎えることから、中部地方整備局名古屋港湾事務所と共同で、8 月 23 日（金）～26 日（月）に「イオンモール名古屋みなと（名古屋市港区）」において「伊勢湾台風襲来から 60 年 企画展」を開催します。

1 日時

令和元年 8 月 23 日（金）13:00～17:00、24 日（土）10:00～17:00
25 日（日）10:00～17:00、26 日（月）10:00～12:00

2 場所

イオンモール名古屋みなと 2F イベントスペース
名古屋市港区品川町 2-1-6

3 内容

未曾有の被害を東海地方にもたらした伊勢湾台風襲来から 60 年にあたることから、海上保安庁で所有する伊勢湾台風通過後の写真と当時の当庁関係者の証言などを併せて展示するほか、当時の海図、当庁の防災への取組みについても展示を行います。また、中部地方整備局名古屋港湾事務所からは、台風襲来後に整備された高潮防波堤築造等の高潮災害への備え等を紹介いたします。

- ・伊勢湾台風通過後の写真と当時の当庁関係者の証言
- ・伊勢湾台風当時の海図
- ・津波シミュレーションマップ
- ・伊勢湾台風概要
- ・高潮防波堤の築造（多重防護）、改良、低減効果 等

さらに、24 日及び 25 日は、海上保安庁イメージキャラクター「うみまる」が登場します。

4 取材の申し込み

現地取材を希望される社は、取材予定日の前日までに、上記問い合わせ先までご連絡下さい。

伊勢湾台風襲来から60年 企画展

[第148回 水路記念日 企画展]

【伊勢湾台風通過後の写真】



伊勢湾磯津沖に乗揚げた船舶
(7,411トン)



名古屋港西防波堤灯台南西5海里付
近に座礁した船舶(4,690トン)



愛知県筏川付近の水没した様子



名古屋海上保安部浮標基地付近の様子



6

高潮に襲われて水没した港区一帯



高潮にあらわれた市電路線

水路記念日について

「水路記念日」とは、海上保安庁海洋情報部の前身である兵部省海軍部水路局創立の日です。

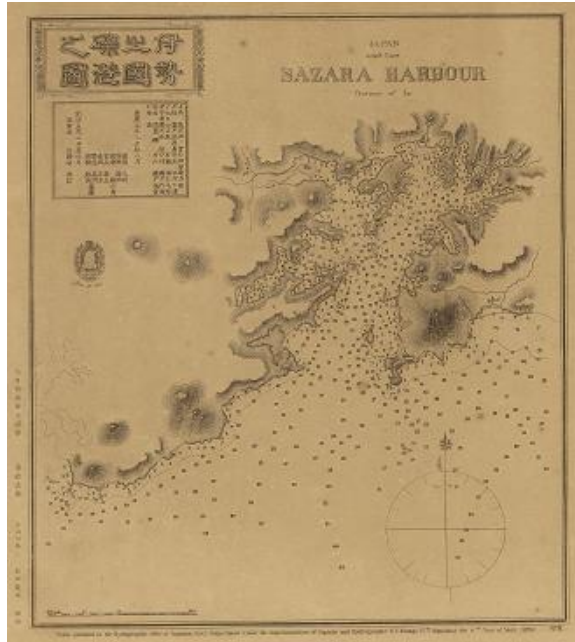
明治2年(1869年)8月に兵部省が設置され、明治3年3月には兵部省の下に海軍掛と陸軍掛の分課が設けられました。

明治4年(1871年)7月28日に兵部省が海軍部と陸軍部に分けられ、海軍部に第1秘史局、第2軍務局、第3造船局、第4水路局(水路局)、第5会計局の5つの局が置かれました。ここに、当時わが国の緊急課題であった日本沿岸の安全を図るための海図作りを使命とした水路局が初めて誕生しました。

明治初期、勝海舟らとともに長崎海軍伝習所においてオランダ式の航海・測量術を学んだ津藩(現三重県)出身の初代水路局長 柳檜悦(やなぎならよし)(右写真)は「水路事業の一切は海員的精神に依り、徹頭徹尾外国人を雇用せず自力を以て、外国の學術技芸を選択利用し、改良進歩を期すべし」を大方針として、日本人のみでの測量を精力的に推進しました。



柳檜悦(やなぎならよし、1832-1891)
津藩士、初代水路局長、水路部長、貴族院議員、大日本水産名誉会員。



「伊勢之國礪(さざら)港之図」

わが国における近代的な海図の第1号は、明治5年9月(旧暦8月)に完成した「陸中国釜石港之図」です。

愛知県・三重県に関する最も古いものとしては、「伊勢之國礪(さざら)港之図」(1873年(明治6年)9月刊行(左図))があり、これは三重県五ヶ所湾の海図で1862年からの幕府海軍の測量によるもので、のちの初代水路部長柳檜悦(当時は津藩士)らにより行われ海図が作成されました。

昭和26年(1951年)に海上保安庁が水路局の誕生した7月28日を水路部の創立の日として制定しましたが、昭和46年(1971年)の水路部創立100周年を期して、明治初期に用いられていた太陰暦(旧暦)の7月28日を現在使用されている太陽暦に換算した9月12日を水路部の創立の日として「水路記念日」を制定しました。

海上保安庁海洋情報部 ～誕生から現在までの変遷～

海上保安庁海洋情報部は、兵部省海軍部水路局として設置されて以降、所属省庁が移り変わってきました。移り変わりの中で、観象台業務の移管が行われ、天文関係は文部省へ、気象関係は内務省へ移管されています。

明治	4年	(1871年)	9月12日 (旧暦7月28日)	兵部省海軍部水路局
"	5年	(1872年)	4月5日 (旧暦2月28日)	海軍省水路局
"	5年	(1872年)	11月13日 (旧暦10月13日)	海軍省水路寮
"	9年	(1876年)	9月1日	海軍省水路局
"	19年	(1886年)	1月29日	海軍水路部 (海軍省外局となる)
"	21年	(1888年)	6月27日	水路部 (海軍冠称廃止)
昭和	20年	(1945年)	11月29日	水路部 (運輸省外局となる)
"	23年	(1948年)	5月1日	海上保安庁水路局 (海上保安庁の内部機関となる)
"	24年	(1949年)	6月1日	海上保安庁水路部
平成	14年	(2002年)	4月1日	海上保安庁海洋情報部 (現在に至る)

【問い合わせ先】

交通部安全対策課

安全対策課長 奥村 和彦

電話 052-661-1611 (内線 2640)



令和元年7月25日
第四管区海上保安本部

船舶海難・人身海難発生状況（令和元年6月）

1 船舶

(1) 船舶事故 15隻（前年12隻）

死者・行方不明者の発生なし（前年0人）

(2) 内訳

船種別

プレジャーボート	9隻	貨物船	1隻
漁船	5隻		

事故種類別

衝突	6隻	単独衝突	1隻
機関故障	4隻	乗揚	1隻
推進器障害	2隻	運航不能（操船技能不足）	1隻

2 人身

(1) 人身事故 12人（前年6人）

死者・行方不明者は4人（前年0人）

(2) 内訳

マリンレジャーに伴う海浜事故 7人

- ・サーフィン中に自身のボードで負傷
- ・サーフィン中に溺水〔死亡〕
- ・蟹捕り中に防波堤から海中転落（救命胴衣：非着用）
- ・遊泳中に溺水（救命胴衣：非着用）
- ・遊泳中に溺水（救命胴衣：非着用）
- ・サーフィン中にカヌーと接触し負傷
- ・サーフィン中にカツオノエボシ（クラゲ）に刺され負傷

マリンレジャー以外の海浜事故 4人

- ・自家用車を運転中に誤って岸壁から海中転落〔死亡〕
- ・浮棧橋から梯子で護岸に移動する際に海中転落（救命胴衣：非着用）
- ・原因不明の溺水〔死亡〕（救命胴衣：非着用）
- ・素潜り漁中の溺水〔死亡〕

乗船者の人身事故 1人

- ・釣り船へ移乗の際岸壁から海中転落（救命胴衣：非着用）

【問い合わせ先】

交通部

安全対策課長 奥村 和彦

電話 052-661-1611（内線 2640）



令和元年6月27日
第四管区海上保安本部

救命胴衣着用効果体験会の実施について

第四管区海上保安本部は、海中での救命胴衣の効果等を体験していただく「救命胴衣着用効果体験会」を実施します。

1 概要

第四管区海上保安本部管内（愛知県・三重県）における釣り人による海中転落事故は昨年12件発生しており、うち4人が死亡（救命胴衣着用は1人）しています。

今年5月末現在では、7件で2人が死亡し、いずれも救命胴衣は未着用でした。

第四管区海上保安本部では、救命胴衣の取扱い等の講習を実施するとともに、実際に海中に入ってもらい、その効果を体験していただく救命胴衣着用効果体験会を実施します。

また、今年4月に三重県熊野市楯ヶ崎で発生した釣り人の海中転落漂流事故の当事者から当時の体験について講話していただきます。

2 日時

令和元年7月28日（日）09:30～11:00

3 場所

名古屋市港区東築地町28番地2

名古屋海上保安部船艇基地（名古屋市立東築地小学校西側）

（別図参照）

4 参加者

釣りインストラクター約20名

参加希望報道機関

5 その他

取材及び実際に救命胴衣の着用効果等の体験を希望される社は、7月26日（金）15:00までに別紙「取材参加申込書」により当本部交通部安全対策課までご連絡頂きますようお願い致します。

【別紙】

「救命胴衣着用効果体験会」

取材、体験申込書

御社名

ご芳名

ご連絡先

【 取材のみ・取材及び体験 】

(該当に○をお願いします。)

※お手数ですが、取材に来られる方全員のお名前のご記入をお願いいたします。
救命胴衣の着用効果の体験は各社1名とさせていただきます。

FAX送付先：052-652-1473

締め切り：7月26日（金）午後3時まで

【問い合わせ先】

第四管区海上保安本部交通部
安全対策課長 奥村 和彦
電話 052-661-1611(内線2640)

別図：救命胴衣着用体験実施場所(名古屋海上保安部船艇基地)

